PRIMEQUEST



PRIMEQUEST 1000 シリーズ Windows Server 2008 NTP 設定手順書

Copyright 2010 FUJITSU LIMITED



はじめに

- ・ 本書は、以下の環境におけるインターネット時刻 (NTP) の設定手順について解説するものです。
 - PRIMEQUEST 1000 シリーズ
 - Windows Server 2008 / Windows Server 2008 R2
 - Workgroup 環境
- 本書は、PRIMEQUEST 1000 シリーズと、Windows Server のシステム管理者としての一般的な操作知識 をもつ方を前提に記載しています。PRIMEQUEST 1000 シリーズの詳細については、ハードウェアマニュア ルを参照してください。
- ・ Active Directory 環境の場合は、自動的にドメインコントローラと時刻同期が行われますので、本書の設定を 行う必要はありません。
- Windows Server 2003、Windows Server 2003 R2のNTP 設定については、『PRIMEQUEST 1000シリ ーズ Windows Server 2003 NTP 設定手順』をお読みください。
- Microsoft、Windows、Windows Serverは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。



1 NTP設定の概要

PRIMEQUEST 1000 シリーズは、Home SB にパーティションの時刻が保持されています。そのため Reserved SB 機能や、SB の保守交換によって Home SB が切り替わったさいに、パーティションのシステム時刻がずれる可能性があります。

Windows Server 2008 および Windows Server 2008 R2 の Workgroup 環境は、標準では 1 週間に 1 度、 NTP サーバと時刻同期が行われる設定になっています。また、Windows Server 2008 以前は起動時に時刻同 期が行われる仕様でしたが、Windows Server 2008 R2 では行われません。 時刻のずれがすぐに修正されるように、以下の設定を行ってください。

設定項目	設定内容
NTP サーバの指定	コントロールパネルの[日付と時刻] から、同期先の NTP サーバを設定します。
時刻同期間隔の設定	15分間隔で時刻同期が行われるように、レジストリエディタを使用して以下のレジストリ
	値を設定します。
	HKEY_LOCAL_MACHINE¥SYSTEM¥CurrentControlSet¥Services¥W32Ti
	me¥TimeProviders¥NtpClient
	SpecialPollInterval (REG_DWORD) 值:900 (10 進数)
サービスの起動設定	システム管理の[サービス] から、Windows Time サービスが自動起動するように設定
	を行います。 (Windows Server 2008 R2 のみ)
イベントタスクの設定	⁻ NTP サーバから時刻が取得できたとき、必ずシステム時刻に反映されるように、タスク
	スケジューラに以下のように登録します。
	対象:"システム ログ"、ソース:"Time-Service" ID:37 が記録されたとき、 "w32tm
	/resync" コマンドを実行する

詳細な手順は、次のページから説明します。

- → 2 Windows Server 2008 の設定手順
- → 3 Windows Server 2008 R2 の設定手順



2 Windows Server 2008 の設定手順

以降の手順は、管理者権限のあるユーザで行ってください。

2.1 NTPサーバの指定

(1) [コントロール パネル]・[日付と時刻]を選択し、[日付と時刻] 画面を開きます。

# 日付と時刻				
日付と時刻 追加の時計 インターネット時刻				
日付: 2010年4月14日 時刻: 14:57:45				
9769-2				
(GMT+09:00) 大阪、札幌、東京				
タイム ゾーンの変更(Z)				
このタイム ゾーンでは夏時間は実施されていません。				
時計とタイム ゾーンをどう設定しますか?				
OK キャンセル 適用(A)				

(2) [インターネット時刻] タブの[設定の変更] ボタンをクリックします。

■ 日付と時刻
日付と時刻 追加の時計 インターネット時刻
と自動的に同期するように設定されています。
次回の同期: 2010/04/14 16:11
時計は正常に 2010/04/14 15:57 にと同期しまし た。
愛 設定の変更(C)
インターネット時刻の同期とは何ですか?
OK キャンセル 適用(<u>A</u>)

SU

FU

- (3) [インターネット時刻設定] ダイアログで、以下のように設定します。
 - [インターネット時刻サーバーと同期する] チェックボックスを ON にします。
 - [サーバー] に NTP サーバを指定します。

📽 インターネット時刻設定	×
インターネット時刻設定を構成します:	
マインターネット時刻サーバーと同期する(S)	
サーバー(<u>E</u>): 今すぐ更新(<u>U</u>)	
時計は正常に 2010/04/14 15:57 に と同期しました。	
OK キャンセル	

- (4) [OK] をクリックして、[インターネット時刻設定] ダイアログを閉じます。
- (5) [OK] をクリックして、[日付と時刻のプロパティ]を閉じます。



2.2 同期間隔の設定

(1) [ファイル名を指定して実行] に、"regedit.exe"と入力して[OK] をクリックすると、レジストリ エディタが 起動します。

	ファイル	名を指定して実行	×
Z	_	実行するプログラム名、または開くフォルダやドキュメン ト名、インターネット リソース名を入力してください。	
名	前(<u>0</u>)	regedit.exe	
		⑦ このタスクは管理者特権で作成されます。	
		OK キャンセル 参照(<u>B</u>)	

(2) 以下のレジストリ値を設定します。

```
HKEY_LOCAL_MACHINE¥SYSTEM¥CurrentControlSet¥Services¥W32Time¥TimeProvide
rs¥NtpClient
SpecialPollInterval (REG_DWORD) 值:900 (10 進数)
```



(3) レジストリエディタを終了します。

(4) スタートメニューの[管理ツール]・[サービス] を起動します。

🔍 サービス					
ファイル(<u>F</u>) 操作(<u>A</u>)	表示(⊻) ヘルプ(<u>H</u>)				
🗢 🔿 🕅 🗐 🖸	à 🗟 📘 🖬 🕨 🔲 II ID				
🔍 サービス (ローカル)	名前 -	説明	状態	スタートアップの種類	ログオン 🔺
	🤹 Windows Audio Endpoint Builder	Windows Au		手動	Local S
	🤹 Windows Color System	WcsPlugInS		手動	Local S
	🤹 Windows Driver Foundation - User-m	ユーザー モー…		手動	Local S
	🤐 Windows Error Reporting Service	プログラムの	開始	自動	Local S
	🤐 Windows Event Collector	このサービス		手動	Network
	🤐 Windows Event Log	このサービス	開始	自動	Local S
	🧠 Windows Firewall	Windows ファ	開始	自動	Local S
	🔍 Windows Installer	Windows イ…		手動	Local S
	🥋 Windows Management Instrumentation	オペレーティン	開始	自動	Local S
	🧠 Windows Modules Installer	Windows (D	開始	手動	Local S
	🔍 Windows Remote Management (WS-M	Windows リモ	開始	自動(遅延開始)	Network
	🔍 Windows Time	ネットワーク上…	開始	自動	Local S
	🔍 Windows Update	Windows お…	開始	自動(遅延開始)	Local S
	🔍 🎧 WinHTTP Web Proxy Auto-Discovery	WinHTTP (‡		手動	Local S
	🤐 Wired AutoConfig	イーサネット		手動	Local S
	🥋 WMI Performance Adapter	Windows Ma		手動	Local S
	🔍 Workstation	SMB プロトコ	開始	自動	Local S Ţ
	└拡張入標準/				

FUITSU

(5) [Windows Time] サービスを選択し、右クリックのポップアップメニューから[再起動] を選択します。

2.3 イベントタスクの設定

(1) スタートメニューの[管理ツール]・[タスク スケジューラ] を起動します。

🕑 ቃスク スケジューラ		_ & ×
ファイル(E) 操作(<u>A</u>) 表示(<u>V</u>)	ヘルプ(圧)	
🗢 🔿 🔲 🖬 🖌		
🕑 タスク スケジューラ (ローカル)	タスク スケジューラの概要 (最終更新時: 2010/04/14 135307)	操作
🗉 🔀 タスク スケジューラ ライブラリ	カフカ フカジュ ニラの 郷 亜	🔺 タスク スケジューラ(ローカル) 🔺
		別のコンピュータへ接続
	タスクスケジューラを使って、指定したときにコンピュータで自動的に実行されるように、共通タスクを作成し管理することができます。開始するには、「操作」メニューのコマンドをクリックしてください。	囫 基本タスクの作成
	タスクは、タスク スケジューラ ライブラリ フォルダに保管されます。個々のタスクを表示または非常作するには、タスク スケジ	🐌 タスクの作成
	ューラ ライブラリのタスクを選択し、「操作」 メニューのコマンドをクリックしてくだざい。	タスクのインボート
		一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
	9X90H7tm	AT サービスのアカウントの
	次の期間に開始したタスクの状態: 過去 24 時間以内 ▼	表示
	概要: 合計 9 - 実行中 3、成功 5、停止 1、失敗 0	
		👔 ヘルプ
	タスク名 実行結果 実行開始日時 実行終了日時	
	田 Consolidator (成功 の最終実行日	
	田 NAPStatus UI (停止されましたの	
	田 ntp (成功 の最終実行日時: 2010/	
	□ El Queue Reporting (成功 ())最終美	
	179747/89X9]]]
	アクティブなタスクとは、現在有効で、有効期限が切れていないタスクです。	
	要約:17 合計	
	タスク名 次回の実行時刻 りガ 場所 🔺	
	aaa イベント時 - ログ: System, ¥ Concelidator 2010/04/15 1:00:00 0:00 (一記曲) (2004/01/02 ¥Microsoft¥)	
	IpAddressConflict1 イベンド時 - ログ: System、… ¥Microsoft¥	
	IpAddressConflict2 イベント時 - ログ: System、… ¥MicrosoftW -	
	最後の情報更新日時 2010/04/14 13:53:07 最新の情報に更	新

(2) 右の[操作] ペインから、[基本タスクの作成] を選択し、[基本タスクの作成ウィザード] を開きます。

PRIMEQUEST 1000 シリーズ

Windows Server 2008 NTP 設定手順書



(3) [基本タスクの作成] 画面で、[名前] に適当なタスクの名称を入力し、[次へ] をクリックします。

基本タスクの作成ウィザード			×
基本タスクの作成			
基本	このウィザードでは、ま 詳細オブションや設定	共通タスクを素早くスケジュールします。複数のタスク操作やトリガなどの Eは、 □操作] ペインの [タスクの作成] コマンドを使ってください。	
	名前(<u>A</u>):	ntp-sync	
	[党8月(<u>D</u>):		
		< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル	

(4) [トリガ] 画面で、[特定イベントのログへの記録時] を指定し、[次へ] をクリックします。

基本タスクの作成ウィザード		×
🤟 タスクトリガ		
基本タスクの作成 トリガ イベントがログに記録された 操作 完了	 (いつタスクを開始しますか? ○ 毎日(D) ○ 毎週(W) ○ 毎月(M) ○ 1 回限り(Q) ○ コンピュータの起動時(日) ○ ログオン時(L) ○ ログオン時(L) ● 特定イベントのログへの記録時(E) 	
		< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

- (5) [特定イベントのログへの記録時] 画面で、以下のように指定します。
 - [ログ] から "システム" を選択します。
 - [ソース] から "Time-Service" を選択します。
 - [ID] に "37" を入力します。

			/
基本タスクの作成ウィザード			×
100 特定イベントのログ	への記録時		
基本タスクの作成			
わげ	ログ(<u>O</u>):	システム	•
イベントがログに記録された 操作	ソース(<u>S</u>):	Time-Service	•
完了	イベント ID(T):	37	
		< 戻る(B) 次へ(N) >	キャンセル

FUITSU

[次へ] をクリックします。

(6) [操作] 画面で、[プログラムの開始] を指定し、[次へ] をクリックします。

基本タスクの作成ウィザード			×I
1 操作			
基本タスクの作成 トリガ イベントがログに記録された <mark>操作</mark> 完了	タスクでどの操作を実行しますか? ● プログラムの開始(T) ● 電子メールの送信(S) ● メッセージの表示(M)		
		< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル	

- (7) [プログラムの開始] 画面で、以下のように指定します。
 - [プログラム/スクリプト] に "%SystemRoot%¥System32¥w32tm.exe" と入力します。
 - [引数の追加(オプション)] に "/resync" と入力します。

基本タスクの作成ウィザード			×
🔟 プログラムの開始			
基本タスクの作成 トリガー イベントのログへの記 操作 プログラムの開始 完了	プログラム/スクリプト(<u>P</u>): ⁽ XSystemRoot%¥System32¥w32tm.exe 引数の追加 (オプション)(<u>A</u>): 開始 (オプション)(<u>T</u>):	参照(<u>R</u>) /resync	
		< 戻る(B) 次へ(<u>N</u>) > キャン1	211

rsu

FU

[次へ] をクリックします。

(8) [概要]画面で、[完了をクリックしたときに、このタスクのプロパティ ダイアログを開く] のチェックボックス を ON にし、[完了]をクリックします。

基本タスクの作成ウィザード		×
1 概要		
基本タスクの作成 トリガ イベントがログに記録された 操作 プログラムの起動 完了	名前: ntp=sync ドリガ: イベント時: イベント時 - ログ: Syste 操作: プログラムの開始: %SystemRoot%¥ ▼ [完了] をクリックしたときに、このタスクの [プロパティ] ダ	em、ソース: Microsoft-Windov w32tm.exe /resync イアログを開く
	「元了」をクリックしたときに、新しいタスクが作らなされ、Windます。 ます。 く 戻る(日	ows スケシュールに20月11され) <u>完了(F)</u> キャンセル

(9) [<タスクの名称>のプロパティ] 画面で、[ユーザーまたはグループの変更] ボタンをクリックします。

PRIMEQUEST 1000 シリーズ

Windows Server 2008 NTP 設定手順書

tp-sync のノロバティ (ローカル コンピュータノ	Ň
全般 川ガ 操作	条件 設定 履歴	
名前(<u>M</u>):	ntp-sync	
作成者:	WIN-8S89AJ7F8L2¥Administrator	
説明(<u>D</u>):		
┌─セキュリティ オプション		
タスクの実行時に使う	ユーザー アカウント:	
WIN-8S89AJ7F8L2	¥Administrator ユーザーまたはグループの変更(U)	
 ユーザーがログオン 	しているときのみ実行する(<u>R</u>)	
○ ユーザーがログオン	しているかどうかにかかわらず実行する(型)	
□ パスワードを(呆存しない(P) タスクがアクセスできるのはローカル コンピュータ リソースのみ	
□ 最上位の特権で	実行する(1)	
□ 表示しない(<u>E</u>)	構成(<u>C</u>): Windows Vista™ または Windows Server™ 2008 👤]
	OK キャンセル	

(10) [選択するオブジェクト名を入力してください] に "System" と入力し、[OK] をクリックします。

ユーザー または グループ の選択	<u>?×</u>
オブジェクトの種類を選択してください(S):	
ユーザー、グループ または ビルトイン セキュリティ プリンシパル	オブジェクトの種類(<u>O</u>)
場所を指定してください(E):	
WIN-8S89AJ7F8L2	場所(<u>L</u>)
選択するオブジェクト名を入力してください (<u>例</u>)(<u>E</u>):	
System	名前の確認(<u>C</u>)
	OK キャンセル

(11)[OK] をクリックして[<タスクの名称>のプロパティ]を閉じます。

FUJITSU



3 Windows Server 2008 R2 の設定手順

以降の手順は、管理者権限のあるユーザで行ってください。

3.1 NTPサーバの指定

(1) [コントロール パネル]・[日付と時刻の設定] を選択し、[日付と時刻] 画面を開きます。

■ 日付と時刻
日付と時刻 追加の時計 インターネット時刻
日付: 2010年4月14日 時刻: 16:29:07
タイムゾーン
(UTC+09:00) 大阪、札幌、東京
タイム ゾーンの変更(Z)
オンラインでタイム ゾーンの詳細情報を取得 時計とタイム ゾーンの設定方法
OK キャンセル 適用(<u>A</u>)

(2) [インターネット時刻] タブの[設定の変更] ボタンをクリックします。

📽 日付と時刻	×
日付と時刻 追加の時計(インターネット時刻)	
と自動的に同期するように設定されています。	
次回の同期: 2010/04/14 16:43	
時計は正常に 2010/04/14 16:28 に と同期しました。	
<u> 登定の変更(C)</u>	
<u>インターネット時刻の同期とは何ですか?</u>	
OK キャンセル 適用(A)	

ISU

FU

- (3) [インターネット時刻設定] ダイアログで、以下のように設定します。
 - [インターネット時刻サーバーと同期する] チェックボックスを ON にします。
 - [サーバー] に NTP サーバを指定します。

📽 インターネット時刻設定	×
インターネット時刻設定を構成します:	
マ インターネット時刻サーバーと同期する(S)	
サーバー(<u>E)</u> : 今すぐ更新(<u>U</u>)	
時計は正常に 2010/04/14 16:28 に と同期しました。	
OK キャンセル	

- (4) [OK] をクリックして、[インターネット時刻設定] ダイアログを閉じます。
- (5) [OK] をクリックして、[日付と時刻のプロパティ] を閉じます。



3.2 同期間隔およびサービス起動の設定

(1) [ファイル名を指定して実行] に、"regedit.exe"と入力して[OK] をクリックすると、レジストリ エディタが 記動します。

に切しより。			
📼 ファイル名を	指定して実行		×
	テするプログラム名、 ト名、インターネット	または開くフォルダー リソース名を入力して	やドキュメ こください。
名前(O): re	gedit.exe		-
	-		
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	このタスクは管理者	持権で作成されます。	
	ОК	キャンセル	参照(<u>B</u>)
(2) 以下のレジストリ値を設定し	ます。		
HKEY_LOCAL_MACHINE¥SYS rs¥NtpClient SpecialPollInterval (F	STEM¥CurrentCon REG DWORD) 值:	ntrolSet¥Servi 900 (10 進数)	.ces¥W32Time¥TimeProvide
		(· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入	り(<u>A) ヘルプ(H)</u>		
I IIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIII	名前	種類	データ
🖕 🗓 W32Time 👘	•••(既定)	REG_SZ	(値の設定なし)
	🧱 AllowNonstandar	REG_DWORD	0x00000001 (1)
Parameters	👸 Compatibility Flags	REG_DWORD	0×80000000 (2147483648)
Security	🧱 CrossSiteSyncFI	REG_DWORD	0×00000002 (2)
E TimeProviders	赵 DIIName	REG_EXPAND_SZ	%systemroot%¥system32¥w32timedH
NtpClient	🤫 Enabled	REG_DWORD	0x00000001 (1)
NtpServer	🔣 EventLogFlags	REG_DWORD	0x00000001 (1)
H → VMICTImeProvider	職 InputProvider	REG_DWORD	0x00000001 (1)
	職 LargeSampleSkew	REG_DWORD	0×00000003 (3)
WacomPen	🕫 ResolvePeerBack	REG_DWORD	0×00000007 (7)
	🧱 ResolvePeerBack	REG_DWORD	0×0000000f (15)
H → S Wanarpy6	📆 Special PollInterval	REG_DWORD	0×00000384 (900)
	DecialPollTimeR	REG_MULTI_SZ	ntp1css.fujitsu.com,7b2b64e
コンピューター¥HKEY LOCAL MACHINE¥SYS	TEM¥CurrentControlSet	¥services¥W32Time¥Ti	meProviders¥NtpClient

- (3) レジストリエディタを終了します。
- (4) スタートメニューの[管理ツール]・[サービス] を起動します。

🔍 サービス							
ファイル(E) 操作(<u>A</u>)	表示(1) ヘルプ(日)						
) 🛃 🔽 📷 🕨 🔳 II ID						
🤐 サービス (ローカル)	😋 サービス (ローカル)						
	Windows Time	名前 🔺	説明	状態	スタートアップの種類	ログオン	
	サービスの関始	Windows Event Col	このサ このサ	開始	手動	Network	
	<u></u>	Windows Firewall	Windo	開始	自動	Local S	
	■ 1910日月:	🎑 Windows Font Cac	共通…		手動	Local S	
	ネットワーク上のクライアントとサーバーの日	🎑 Windows Installer	Windo		手動	Local S	
	時の同期を維持します。このサービスを停 止まえと ロ時の同期は行われたくかれま	🎑 Windows Managem	オペレ	開始	自動	Local S	
	「正9℃、日時の同期は11010よりよう」 「す。このサービスを無効にすると、このサービー	🏩 Windows Modules I	Windo	開始	手動	Local S	
	えに依存しているサービスは起動できなくな	🔍 Windows Remote M	Windo	開始	自動(遅延開始)	Network	
	ります。	🏩 Windows Time	- ネット		手動	Local S	
		🔍 Windows Update	Windo	開始	自動(遅延開始)	Local S	
		🔍 WinHTTP Web Prox	WinH	開始	手動	Local S	
		🎑 Wired AutoConfig	Wired		手動	Local S	_
		🔍 WMI Performance	Windo		手動	Local S	
		🔍 Workstation	SMB	開始	自動	Network	-
	∖拡張 < 標準 /						

SU

- (5) "Windows Time"サービスを右クリックし、ポップアップメニューから[プロパティ]を選択します。
- (6) [Windows Time のプロパティ] 画面で、[スタートアップの種類] を "自動 (遅延開始)" に指定しま す。

(ローカル コンピューター) Windows Time のプロパティ	×			
全般 ログオン 回行	复 依存関係	_,			
サービス名:	W32Time				
表示名:	Windows Time				
i兑8月:	ネットワーク上のクライアントとサーバーの日時の同期を維持しま す。このサービスを停止すると、日時の同期は行われなくなりま ・				
実行ファイルのパス: C:¥Windows¥syster	n32¥svchost.exe -k LocalService				
スタートアップの 種準町(F):	スタートアップの 自動 (遅延開始)				
サービスのスタートアッ	##★REA サービスのスタートアップ オブションの構成の詳細を表示します				
ーー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	停止				
開始(<u>S</u>)	停止(I) 一時停止(P) 再開(B)				
ここでサービスを開始					
開始パラメーター(M):					
_	,				
	OK キャンセル 適用(A)				

- (7) サービスが停止している場合は、[開始] ボタンをクリックします。サービスが既に開始している場合は、 [停止] ボタンをクリックして一度停止状態にしてから、[開始]ボタンをクリックします。
- (8) [OK] をクリックして[Windows Time サービスのプロパティ] 画面を閉じます。



3.3 イベントタスクの設定

(1) スタートメニューの[管理ツール] - [タスク スケジューラ] を起動します。

🕑 ቃスク スケジューラ		_ 8 ×
ファイル(<u>F</u>) 操作(<u>A</u>) 表示(<u>V</u>)	へいづ(日)	
🕑 タスク スケジューラ (ローカル)	タスクスケジューラの概要(最終更新日時: 2010/04/14 16:44:01)	操作
┃ ⊞ 🔀 タスク スケジューラ ライブラリ		タスク スケジューラ(ローカル) 🔺
	タスクスケジューラの戦要・	別のコンピューターへ接続
	タスクスケジューラを使って、指定したときにコンピューターで自動的に実行されるように、共通タスクを作成し管理する ことができます。間始するには、「操作」メニューのコマンドをクリックしてください。	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
	タスクは、タスク スケジューラ ライブラリ フォルダーに保管されます。個々のタスクを表示または操作するには、タスク スケ	🐌 タスクの作成
	ジューラ ライブラリのタスクを選択し、「1条作」 メニューのコマンドをクリックしてください。	タスクのインポート
		🛛 👼 実行中のすべてのタスクの
	タスクの状態	📔 👔 すべてのタスク履歴を有効
	次の期間に間始日まね2万の状態。 過去 24 時間以内 ▼	AT サービスのアカウントの
		表示 ▶
		▲ 最新の情報に更新
	アクティブなタスク	
	アクティブなタスクとは、現在有効で、有効期間数が切れていないタスクです。	
	概要:合計 26	
	タスク名 次回の実行時刻 リガー 場所 BacTask 2010/04/14 12:09:53 複数のビガーの定差 ¥Microsoft¥	
	ServerCeipAssistant 2010/04/14 18:51:28 2010/04/10 0:50 (记起動一 ¥Microsoft¥)	
	ProgramDataUpdater 2010/04/15 0:30:00 毎日 0:30 (記動 ¥Microsoft¥) ServerRoleCollector 2010/04/15 1:15:31 7日(二1回 0:30 (手動 Microsoft¥)	
		1
	取和公式和目前子 2010/04/14 10:44:01 取利(0)指单限之更利	

(2) 右の[操作] ペインから、[基本タスクの作成] を選択し、[基本タスクの作成ウィザード] を開きます。 (3) [基本タスクの作成] 画面で、[名前] に適当なタスクの名称を入力し、[次へ] をクリックします。

基本タスクの作成ウィザード				×
基本 タスクの作用	戉			
<u>基本タスクの作成</u> トリガー 操作 完了	このウィザードで 詳細オブション 名前(<u>A</u>): htt 説明(<u>D</u>):	では、共通タスクを素早くスケジ や設定は、「操作」 ペインの「タ p-sync	ュールします。複数の スクの作成] コマンド፣	タスク抹作やトリガーなどの を使ってください。
			< 戻る(B)	次へ(N)> キャンセル

rsu

FU

(4) [トリガ] 画面で、[特定イベントのログへの記録時] を指定し、[次へ] をクリックします。

基本タスクの作成ウィザード			×
タスクトリガー			
基本タスクの作成 トリガー イベントのログへの記 操作 完了	 (いつタスクを開始しますか? 毎日(D) 毎週(W) 毎月(M) 1回限り(Q) コンピューターの起動時(H) ログオン時(L) ド方定イベントのログへの記録時(E) 	< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル	

- (5) [特定イベントのログへの記録時] 画面で、以下のように指定します。
 - [ログ] から "システム" を選択します。
 - [ソース] から "Time-Service" を選択します。
 - [ID] に "37" を入力します。

基本タスクの作成ウィザード		<u>×</u>	١
100 特定イベントのロ	コグへの記録時		
基本タスクの作成 トリガー イベントのログへの記 操作 完了	ログ(<u>O</u>): ソース(<u>S</u>): イベント ID(<u>T</u>):	システム Time-Service 37]	
		< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル	

SU

FU

[次へ] をクリックします。

(6) [操作] 画面で、[プログラムの開始] を指定し、[次へ] をクリックします。

基本タスクの作成ウィザード		×
撞		
基本タスクの作成 トリガー イベントのログへの記	タスクでどの操作を実行しますか?	
操作	○ プログラムの開始(T)	
761	○ 電子メールの送信(S)	
	○ メッセージの表示(M)	
	< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル	

(7) [プログラムの開始] 画面で、以下のように指定します。

- [プログラム/スクリプト] に "%SystemRoot%¥System32¥w32tm.exe" と入力します。
- [引数の追加(オプション)] に "/resync" と入力します。

基本タスクの作成ウィザード			×
🔟 プログラムの開始			
基本タスクの作成 トリガー イベントのログへの記	プログラム/スクリプト(<u>P</u>):		
操作	%SystemRoot%¥System32¥w32tm.exe		参照(<u>R</u>)
プログラムの開始 完了	引数の追加 (オプション)(<u>A</u>):	/resync	
	開始 (オプション)(<u>T</u>):		
		< 戻る(B) 次へ	(N)> キャンセル

rsu

FU

[次へ] をクリックします。

(8) [概要]画面で、[完了をクリックしたときに、このタスクのプロパティ ダイアログを開く] のチェックボックス を ON にし、[完了] をクリックします。

基本タスクの作成ウィザード			×
極 概要			
基本タスクの作成			_
「別ガー」	名前:	Intp-sync	
1ヘントのロクへの記 操作	記 ^日 月:		
プログラムの開始			
完了			
	トリガー∹	イベント時: イベント時 - ログ: System、ソース: Microsoft-Windows-Time-S	e
	操作:	プログラムの開始; %SystemRoot%¥System32¥w32tm.exe /resync	
	☑ 庑7] をクリックしたときに、このタスクの [プロパティ] ダイアログを開く	
	[完了] を す。	ウリックしたときに、新しいタスクが作成され、Windows スケジュールに追加されま	
		/ 戸3(0) 「宝フ(0)」 ないお	. 1
			<u></u>

(9) [<タスクの名称>のプロパティ] 画面で、[ユーザーまたはグループの変更] ボタンをクリックします。

PRIMEQUEST 1000 シリーズ

Windows Server 2008 NTP 設定手順書

@ntp-sync のプロパティ (ローカル コンピューター)

全般 トリガー :	操作 条件 設定 履歴 (無効)
名前(<u>M</u>):	ntp-sync
場所:	¥
作成者:	WIN-SVFNGKVKN1R¥Administrator
፤党 ⁸ 月(<u>D</u>):	
ーセキュリティ オブシ	νεννεν
タスクの実行時(お	こ使うユーザー アカウント:
WIN-SVFNGKV	/KN1R¥Administrator ユーザーまたはグループの変更(山)
● ユーザーがロ	ヴオンしているときのみ実行する(R)
○ ユーザーがロ	ヴオンしているかどうかにかかわらず実行する(W)
□ パスワード#	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー
□ 最上位の特	権で実行する(1)
□ 表示しない(E)	構成(<u>C</u>): Windows Vista™, Windows Server™ 2008 💽
	OK キャンセル

U

F

(10) [選択するオブジェクト名を入力してください] に "System" と入力し、[OK] をクリックします。

ユーザー または グループ の選択	<u>? ×</u>
オブジェクトの種類の選択(<u>S</u>):	
ユーザー、 グループ または ビルトイン セキュリティ プリンシパル	オブジェクトの種類(の)
場所の指定(E):	
JWIN-SVENGKVKN1R	場所(<u>L</u>)
選択するオブジェクト名を入力してください (例)(E):	
System	名前の確認(<u>C</u>)
詳細設定(<u>A</u>)	**>セル

(11)[OK] をクリックして[<タスクの名称>のプロパティ] を閉じます。





shaping tomorrow with you

21 / 21